

■ 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（設定日：2023年10月23日）
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、実質的に米国の取引所に上場している株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 ドナルド・スミス米国ディープバリュー株式マザーファンド 米国の取引所に上場している株式
当ファンドの運用方法	■主として米国の取引所に上場している株式のうち、企業の本源的価値に比べて極めて割安で投資魅力度が高いと判断される企業の株式に投資します。 ■マザーファンドの運用の指図に関する権限の一部を、ドナルド・スミス・アンド・カンパニーに委託します。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 ドナルド・スミス米国ディープバリュー株式マザーファンド ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■年1回（原則として毎年9月24日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。（基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。）

ドナルド・スミス 米国ディープバリュー株式ファンド Bコース(為替ヘッジなし) 【運用報告書(全体版)】

(2023年10月23日から2024年9月24日まで)

第 1 期
決算日 2024年9月24日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、実質的に米国の取引所に上場している株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

 三井住友DSアセットマネジメント
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

ドナルド・スミス米国ディープバリュー株式ファンド Bコース (為替ヘッジなし)

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数)		株式組入率	投資信託比率	純資産額
	(分配)	税配	込金	騰落率	騰落率			
(設定日) 2023年10月23日	円		円	%	100.00	%	%	百万円 38,574
1期(2024年9月24日)	14,066		0	40.7	127.18	89.5	7.5	127,065

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		(参考指数)		株式組入率	投資信託比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(設定日) 2023年10月23日	円	%	100.00	%	%	%
10月末	10,003	0.0	98.29	△ 1.7	79.9	7.8
11月末	10,746	7.5	105.91	5.9	89.1	7.7
12月末	11,804	18.0	116.96	17.0	89.0	6.7
2024年1月末	12,073	20.7	117.59	17.6	88.9	6.7
2月末	12,072	20.7	119.48	19.5	88.7	7.7
3月末	13,430	34.3	126.52	26.5	90.1	6.9
4月末	13,646	36.5	125.33	25.3	89.4	7.3
5月末	14,177	41.8	127.00	27.0	88.0	7.6
6月末	14,230	42.3	128.20	28.2	88.3	7.9
7月末	14,805	48.1	137.27	37.3	89.4	7.2
8月末	13,948	39.5	127.57	27.6	88.4	7.0
(期末) 2024年9月24日	14,066	40.7	127.18	27.2	89.5	7.5

※騰落率は設定日比です。

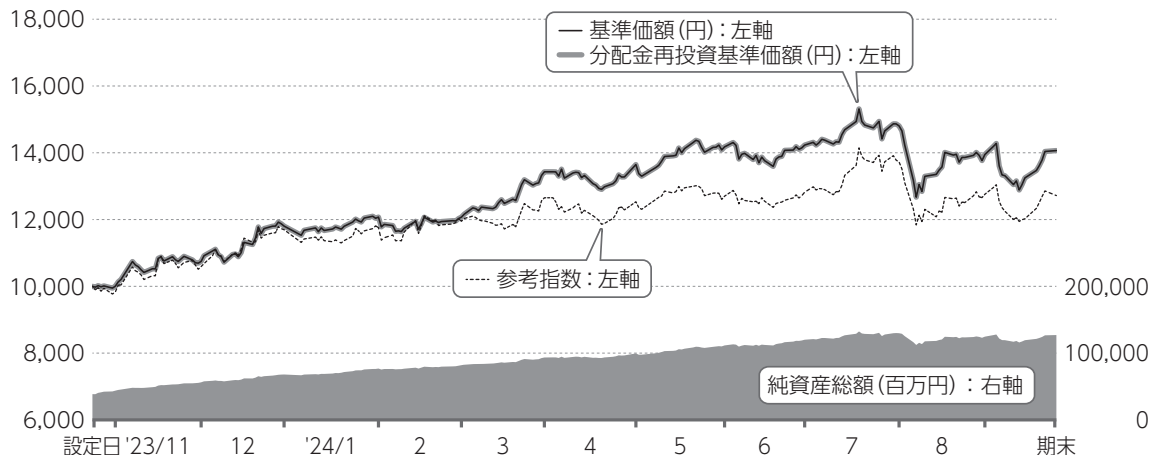
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2023年10月23日から2024年9月24日まで)

基準価額等の推移



※参考指数は、設定日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

設定日	10,000円
期末	14,066円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	+40.7% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、ラッセル2000バリューストック・インデックス(配当込み、円換算ベース)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

基準価額の主な変動要因（2023年10月23日から2024年9月24日まで）

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として米国の取引所に上場している株式*のうち、企業の本源的価値に比べて極めて割安で投資魅力度が高いと判断される企業の株式に投資しました。

なお、実質組入外貨建資産については対円での為替ヘッジを行いませんでした。

*不動産投資信託 (REIT)、預託証書 (DR) 等に投資する場合があります。

上昇要因

- IAMGOLD CORP、ELDORADO GOLD、EQUINOX GOLD CORPなどの金鉱関連銘柄が上昇したこと
- ALGOMA STEEL GROUP INCやUNITED STATES STEEL CORPなどの鉄鋼関連銘柄が上昇したこと
- JACKSON FINANCIAL INCやJEFFERIES FINANCIAL GROUPなどの金融関連銘柄が上昇したこと
- 住宅関連銘柄のM/I HOMESとBEAZER HOMES USA INCが上昇したこと
- 建設関連銘柄のTUTOR PERINI CORPが上昇したこと

下落要因

- エネルギー関連銘柄のCIVITAS RESOURCES INCが下落したこと
- 旅行・レジャー関連銘柄のALLEGIANT TRAVEL COとRLJ LODGING TRUSTが下落したこと

投資環境について（2023年10月23日から2024年9月24日まで）

米国株式市場は上昇しました。また、為替市場は米ドルが円に対して下落しました。

米国株式市場

期を通じて見ると、米国株式市場は上昇しました。

総じて米国の底堅い景気動向や企業決算が相場の下支え要因となるなか、FRB（米連邦準備制度理事会）をはじめとする中央銀行の利下げ開始に対する見方が株式市場を左右する展開となりました。米国の雇用環境には悪化が見られ始めたものの、緩やかなインフレの鈍化もまた確認されたことでFRBの利下げ開始に対する期待が高まり、期前半の株式市場は堅調な推移を見せました。

2024年8月は低調なISM（全米供給管理協会）製造業景況指数や雇用統計を受けて、景気後退懸念が高まり、株式市場は大きく下落したものの、期前半と同様にインフレの鈍化と利下げ期待の高まりによって、その後力強

く反発しました。

期の終盤にはFRBが約4年半ぶりとなる利下げを行いました。2023年10月のファンド設定来、総じてバリュー株（割安株）はグロース株（成長株）に対してアンダーパフォームとなり、この傾向は時価総額の大きい銘柄ほど顕著でした。少数の大手テクノロジー企業が強い存在感を見せました。

為替市場

期を通じて見ると、米ドル/円は円高となりました。

期の前半は、FRBによる利下げ観測の高まりが見られたものの、日米金利差は依然大きいとの見方などから円安で推移しました。7月以降は、日銀の追加利上げや米国の景気後退懸念などから急速に円高が進みました。

ポートフォリオについて（2023年10月23日から2024年9月24日まで）

当ファンド

「ドナルド・スミス米国ディープバリュー株式マザーファンド」を主な投資対象とし、

期を通じて高位に組み入れました。

また、実質組入外貨建資産については対円での為替ヘッジを行いませんでした。

ドナルド・スミス米国ディープバリュー株式マザーファンド

期中、保有銘柄の大部分は上昇しました。特にパフォーマンスを牽引したのはIAMGOLD CORP、ELDORADO GOLDなどの金鉱関連株で、金価格の上昇が後押しとなりました。米ドル建て資産からの分散を図る中央銀行による旺盛な需要、中東における地政学的緊張の継続、およびFRBの利下げ期待が、いずれも金価格の上昇に寄与しました。IAMGOLD CORPとEQUINOX GOLD CORPは、カナダにおける大型プロジェクトの建設を成功裏に完了させ、今後数四半期にわたる生産量の飛躍的増加が見込まれます。また、ELDORADO GOLDのギリシャにおける主要な成長プロジェクトは来年稼働開始予定で、金および銅価格の上昇の恩恵を受けることになるでしょう。

また、ALGOMA STEEL GROUP INCやUNITED STATES STEEL CORPなどの鉄鋼関連銘柄もプラスリターンとなりました。UNITED STATES STEEL CORPは日本製鉄による買収成立に対する不透明性から、買収発表後の上昇分の多くを失いましたが、米製

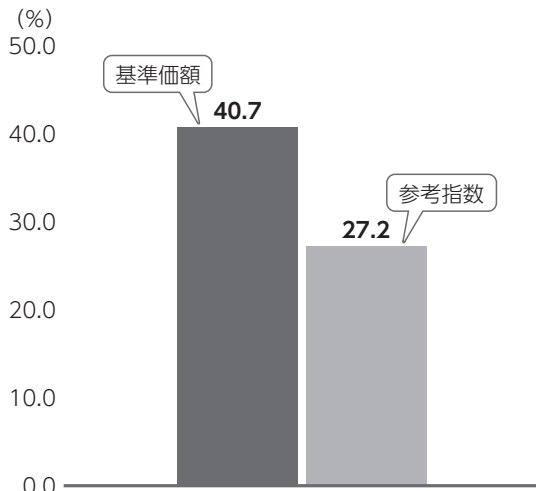
鉄大手のクリーブランド・クリフスによるカナダのステルコ・ホールディングスの買収報道は鉄鋼関連銘柄にとっては追い風となり、同じくカナダの製鉄メーカーであるALGOMA STEEL GROUP INCの株価にとっては特にポジティブに働きました。

この他、個別では建設会社のTUTOR PERINI CORPが大きく上昇しました。同社は重要なインフラプロジェクトの案件を獲得したことで、大幅な収益成長と利益率拡大が期待されています。一方、ALLEGiant TRAVEL CO、RLJ LODGING TRUSTといった旅行・レジャー関連銘柄は、弱い収益見通しや、景気後退懸念の影響を強く受けたことで軟調に推移し、パフォーマンスの重石となりました。

投資行動としては、継続的な資金流入に合わせてポートフォリオの構築を進める中、ALLEGiant TRAVEL CO、CHATHAM LODGING TRUST、GALIANO GOLD INC、NMI HOLDINGS INC - CLASS A、TERNIUM SAを新規購入した一方、INTERNATIONAL SEAWAYSのポジションを縮小するとともに、CENTERRA GOLD INCのポジションを解消しました。

ベンチマークとの差異について（2023年10月23日から2024年9月24日まで）

基準価額と参考指数の騰落率対比



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてラッセル2000バリューストック・インデックス（配当込み、円換算ベース）を設けています。

記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

分配金について（2023年10月23日から2024年9月24日まで）

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第1期
当期分配金 （対基準価額比率）	0 (0.00%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	4,066

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りとした。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

「ドナルド・スミス米国ディープバリュー株式マザーファンド」を主な投資対象とし、高位に組み入れます。

また、実質組入外貨建資産については対円での為替ヘッジを行いません。

ドナルド・スミス米国ディープバリュー株式マザーファンド

設定来、当ファンドは大きなプラスリターンを獲得しましたが、当ファンドのポートフォリオは株価有形純資産倍率が0.92倍(2024年9月23日時点、米ドルベース、ドナルド・スミス社による計算結果)と依然として極めて割安な水準となっています。

インフレは緩和基調にあります。インフレと金利水準の双方は新型コロナウイルスのパンデミック(世界的大流行)前の10年間で観測された水準を上回って推移するとみており、基本的なトレンドはバリュー株、特に当ファンドの組入銘柄のようなディープバリュー株にとって有利であるとみています。金融関連企業のほか、航空機リース、資本財、船舶、金鉱関連企業など実物資産に基づいた銘柄にとってはより好ましい環境だと言えるでしょう。

2024年7-9月期で見られた小型バリュー株の相対的な好パフォーマンスは、大型成長株やAI関連銘柄への過熱感の収まりとともに、今後数ヵ月、数四半期にわたって継続する可能性があると考えています。市場参加者が期待しているFRBによる着実な利下げ継続はディープバリューの当ファンドにとっても好ましいものとなるでしょう。緩和的な金融・財政政策により、結果的に米国経済はリセッション(景気後退)を回避できると、慎重ながらも楽観的にみています。

今後も引き続き、バリュー株式指数に対してアンダーウェイトとしている銘柄のうち、有形純資産価値に対する割安度が大きい銘柄のポジションの引上げを検討していきます。過去数ヵ月間では、小売、エネルギー、素材の3セクターで複数の投資候補銘柄の調査を進めています。引き続き、PBR(株価純資産倍率)の低い当ファンド独自のユニバースを監視し、保有銘柄のモニタリングと併せて新たな銘柄や業種への投資機会を探ってまいります。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

ドナルド・スミス米国ディープバリューストックファンド Bコース（為替ヘッジなし）

1万口当たりの費用明細（2023年10月23日から2024年9月24日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	217円	1.701%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 期中の平均基準価額は12,779円です。
（投信会社）	(117)	(0.914)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(97)	(0.762)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.025)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	30	0.233	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(27)	(0.210)	
（先物・オプション）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(3)	(0.023)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(-)	(-)	
（公社債）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
(d) その他費用	2	0.012	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.007)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.004)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.001)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	249	1.947	

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

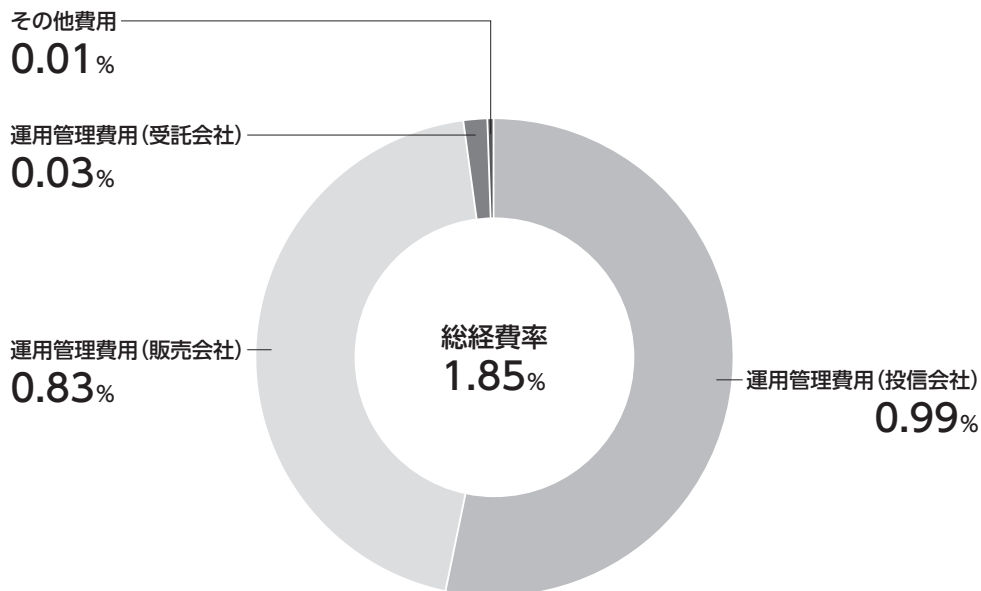
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



参考情報 総経費率（年率換算）



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.85%です。

ドナルド・スミス米国ディープバリューストックファンド Bコース（為替ヘッジなし）

■ 当期中の売買及び取引の状況（2023年10月23日から2024年9月24日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ドナルド・スミス米国ディープバリューストックマザーファンド	89,107,529	101,512,315	1,597,465	2,197,723

■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2023年10月23日から2024年9月24日まで）

項 目	当 期	
	ドナルド・スミス米国ディープバリューストックマザーファンド	
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	117,490,448千円	
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	85,036,296千円	
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	1.38	

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末（ただし、決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等（2023年10月23日から2024年9月24日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

（2023年10月23日から2024年9月24日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細（2024年9月24日現在）

親投資信託残高

種 類	期 末	
	口 数	評 価 額
	千口	千円
ドナルド・スミス米国ディープバリューストックマザーファンド	87,510,064	125,848,223

※ドナルド・スミス米国ディープバリューストックマザーファンドの期末の受益権総口数は91,716,016,587口です。

■ 投資信託財産の構成

（2024年9月24日現在）

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ドナルド・スミス米国ディープバリューストックマザーファンド	125,848,223	98.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	2,351,056	1.8
投 資 信 託 財 産 総 額	128,199,280	100.0

※ドナルド・スミス米国ディープバリューストックマザーファンドにおいて、期末における外貨建資産（131,137,178千円）の投資信託財産総額（132,883,365千円）に対する比率は98.7%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=143.74円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年9月24日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	128,199,280,017円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,448,701,492
ドナルド・スミス米国ディーパリュール株式ファンド(評価額)	125,848,223,705
未 収 入 金	902,354,820
(B) 負 債	1,133,644,127
未 払 解 約 金	222,406,755
未 払 信 託 報 酬	907,715,013
そ の 他 未 払 費 用	3,522,359
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	127,065,635,890
元 本	90,334,695,095
次 期 繰 越 損 益 金	36,730,940,795
(D) 受 益 権 総 口 数	90,334,695,095口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C / D)	14,066円

※当期における期首元本額38,574,665,391円、期中追加設定元本額61,195,128,041円、期中一部解約元本額9,435,098,337円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2023年10月23日 至2024年9月24日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	672,440円
受 取 利 息	707,534
支 払 利 息	△ 35,094
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	24,324,801,770
売 買 益	26,533,631,745
売 買 損	△ 2,208,829,975
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,563,603,333
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	22,761,870,877
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	13,969,069,918
(配 当 等 相 当 額)	(△ 4,725)
(売 買 損 益 相 当 額)	(13,969,074,643)
(F) 合 計 (D + E)	36,730,940,795
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	36,730,940,795
追 加 信 託 差 損 益 金	13,969,069,918
(配 当 等 相 当 額)	(161,265,290)
(売 買 損 益 相 当 額)	(13,807,804,628)
分 配 準 備 積 立 金	22,761,870,877

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するため要する費用として、信託報酬の中から支弁している額は505,824,317円です。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	2,228,562,440円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	20,533,308,437
(c) 収益調整金	13,969,069,918
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	36,730,940,795
1 万 口 当 たり 当 期 分 配 対 象 額	4,066.09
(f) 分配金	0
1 万 口 当 たり 分 配 金	0

■ 分配金のお知らせ

1 万 口 当 たり 分 配 金 (税 引 前)	当 期
	0円

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

ドナルド・スミス米国ディープバリューストックマザーファンド

第1期（2023年10月23日から2024年9月24日まで）

信託期間	無期限（設定日：2023年10月23日）
運用方針	<p>■主として米国の取引所に上場している株式のうち、企業の本源的価値に比べて極めて割安で投資魅力度が高いと判断される企業の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。</p> <p>■運用にあたっては、運用委託契約に基づき運用の指図に関する権限の一部をドナルド・スミス・アンド・カンパニーに委託します。</p> <p>■組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</p>

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額		（参考指数） ラッセル2000バリューストックインデックス (配当込み、円換算ベース)		株式組入率 比率	投資信託組入率 比率	純資産額
	期騰落	中率	期騰落	中率			
（設定日） 2023年10月23日	円 10,000	% —	100.00	% —	% —	% —	百万円 36,410
1期(2024年9月24日)	14,381	43.8	127.18	27.2	90.3	7.5	131,895

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) ラッセル2000バリュウ・インデックス (配当込み、円換算ベース)		株 式 組 入 率 比	投 証 比 資 券 信 託 入 率
		騰 落 率		騰 落 率		
(設定日) 2023年10月23日	円 10,000	% —	100.00	% —	% —	% —
10月末	10,006	0.1	98.29	△ 1.7	82.4	8.0
11月末	10,794	7.9	105.91	5.9	89.9	7.8
12月末	11,886	18.9	116.96	17.0	89.7	6.8
2024年1月末	12,183	21.8	117.59	17.6	89.4	6.7
2月末	12,198	22.0	119.48	19.5	89.1	7.7
3月末	13,598	36.0	126.52	26.5	90.5	7.0
4月末	13,846	38.5	125.33	25.3	90.3	7.4
5月末	14,417	44.2	127.00	27.0	88.8	7.7
6月末	14,487	44.9	128.20	28.2	88.9	8.0
7月末	15,105	51.1	137.27	37.3	89.9	7.3
8月末	14,241	42.4	127.57	27.6	88.8	7.0
(期 末) 2024年9月24日	14,381	43.8	127.18	27.2	90.3	7.5

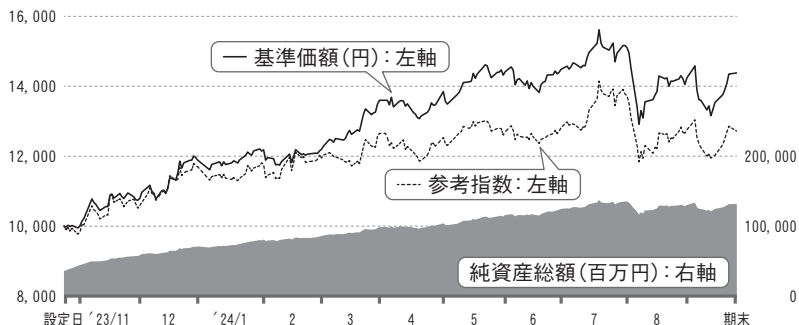
※騰落率は設定日比です。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について（2023年10月23日から2024年9月24日まで）

基準価額等の推移



設定日	10,000円
期末	14,381円
騰落率	+43.8%

※参考指数は、設定日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

※当ファンドの参考指数は、ラッセル2000バリュー・インデックス（配当込み、円換算ベース）です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

▶ 基準価額の主な変動要因（2023年10月23日から2024年9月24日まで）

当ファンドは、主として米国の取引所に上場している株式*のうち、企業の本源的価値に比べて極めて割安で投資魅力が高いと判断される企業の株式に投資しました。

なお、外貨建資産については対円での為替ヘッジを行いませんでした。

*不動産投資信託（REIT）、預託証書（DR）等に投資する場合があります。

上昇要因	<ul style="list-style-type: none">・ IAMGOLD CORP、ELDORADO GOLD、EQUINOX GOLD CORPなどの金鉱関連銘柄が上昇したこと・ ALGOMA STEEL GROUP INCやUNITED STATES STEEL CORPなどの鉄鋼関連銘柄が上昇したこと・ JACKSON FINANCIAL INCやJEFFERIES FINANCIAL GROUPなどの金融関連銘柄が上昇したこと・ 住宅関連銘柄のM/I HOMESとBEAZER HOMES USA INCが上昇したこと・ 建設関連銘柄のTUTOR PERINI CORPが上昇したこと
下落要因	<ul style="list-style-type: none">・ エネルギー関連銘柄のCIVITAS RESOURCES INCが下落したこと・ 旅行・レジャー関連銘柄のALLEGIANTRAVEL COとRLJ LODGING TRUSTが下落したこと

▶ 投資環境について (2023年10月23日から2024年9月24日まで)

米国株式市場は上昇しました。また、為替市場は米ドルが円に対して下落しました。

米国株式市場

期を通じて見ると、米国株式市場は上昇しました。

総じて米国の底堅い景気動向や企業決算が相場の下支え要因となるなか、FRB（米連邦準備制度理事会）をはじめとする中央銀行の利下げ開始に対する見方が株式市場を左右する展開となりました。米国の雇用環境には悪化が見られ始めたものの、緩やかなインフレの鈍化もまた確認されたことでFRBの利下げ開始に対する期待が高まり、期前半の株式市場は堅調な推移を見せました。

2024年8月は低調なISM（全米供給管理協会）製造業景況指数や雇用統計を受けて、景気後退懸念が高まり、株式市場は大きく下落したものの、期前半と同様にインフレの鈍化と利下げ期待の高まりによって、その後力強く反発しました。

期の終盤にはFRBが約4年半ぶりとなる利下げを行いました。2023年10月のファンド設定来、総じてバリュー株（割安株）はグロース株（成長株）に対してアンダーパフォームとなり、この傾向は時価総額の大きい銘柄ほど顕著でした。少数の大手テクノロジー企業が強い存在感を見せました。

為替市場

期を通じて見ると、米ドル/円は円高となりました。

期の前半は、FRBによる利下げ観測の高まりが見られたものの、日米金利差は依然大きいとの見方などから円安で推移しました。7月以降は、日銀の追加利上げや米国の景気後退懸念などから急速に円高が進みました。

▶ ポートフォリオについて (2023年10月23日から2024年9月24日まで)

期中、保有銘柄の大部分は上昇しました。特にパフォーマンスを牽引したのはIAMGOLD CORP、ELDORADO GOLDなどの金鉱関連株で、金価格の上昇が後押しとなりました。米ドル建て資産からの分散を図る中央銀行による旺盛な需要、中東における地政学的緊張の継続、およびFRBの利下げ期待が、いずれも金価格の上昇に寄与しました。IAMGOLD CORPとEQUINOX GOLD CORPは、カナダにおける大型プロジェクトの建設を成功裏に完了させ、今後数四半期にわたる生産量の飛躍的増加が見込まれます。また、ELDORADO GOLDのギリシャにおける主要な成長プロジェクトは来年稼働開始予定で、金および銅価格の上昇の恩恵を受けることになるでしょう。

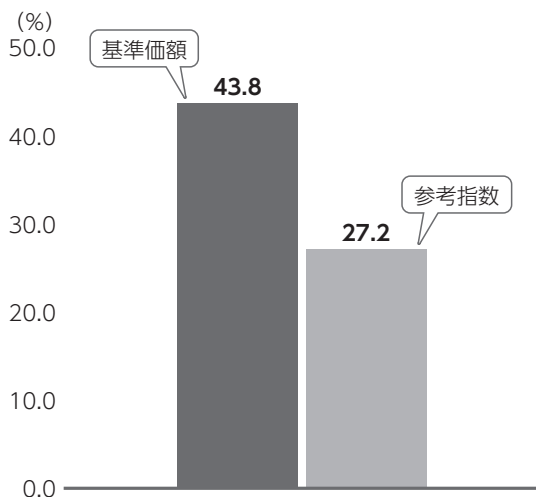
また、ALGOMA STEEL GROUP INCやUNITED STATES STEEL CORPなどの鉄鋼関連銘柄もプラスリターンとなりました。UNITED STATES STEEL CORPは日本製鉄による買収成立に対する不透明性から、買収発表後の上昇分の多くを失いましたが、米製鉄大手のクリーブランド・クリフスによるカナダのステルコ・ホールディングスの買収報道は鉄鋼関連銘柄にとっては追い風となり、同じくカナダの製鉄メーカーであるALGOMA STEEL GROUP INCの株価にとっては特にポジティブに働きました。

この他、個別では建設会社のTUTOR PERINI CORPが大きく上昇しました。同社は重要なインフラプロジェクトの案件を獲得したことで、大幅な収益成長と利益率拡大が期待されています。一方、ALLEGIAN T TRAVEL CO、RLJ LODGING TRUSTといった旅行・レジャー関連銘柄は、弱い収益見通しや、景気後退懸念の影響を強く受けたことで軟調に推移し、パフォーマンスの重石となりました。

投資行動としては、継続的な資金流入に合わせてポートフォリオの構築を進める中、ALLEGIAN T TRAVEL CO、CHATHAM LODGING TRUST、GALIANO GOLD INC、NMI HOLDINGS INC - CLASS A、TERNIUM SAを新規購入した一方、INTERNATIONAL SEAWAYSのポジションを縮小するとともに、CENTERRA GOLD INC. のポジションを解消しました。

▶ ベンチマークとの差異について (2023年10月23日から2024年9月24日まで)

基準価額と参考指数の騰落率対比



当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてラッセル2000バリュー・インデックス（配当込み、円換算ベース）を設けています。

記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

2 今後の運用方針

設定来、当ファンドは大きなプラスリターンを獲得しましたが、当ファンドのポートフォリオは株価有形純資産倍率が0.92倍（2024年9月23日時点、米ドルベース、ドナルド・スミス社による計算結果）と依然として極めて割安な水準となっています。

インフレは緩和基調にあります。インフレと金利水準の双方は新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）前の10年間で観測された水準を上回って推移するとみており、基本的なトレンドはバリュー株、特に当ファンドの組入銘柄のようなディープバリュー株にとって有利であるとみています。金融関連企業のほか、航空機リース、資本財、船舶、金鉱関連企業など実物資産に基づいた銘柄にとってはより好ましい環境だと言えるでしょう。

2024年7-9月期で見られた小型バリュー株の相対的な好パフォーマンスは、大型成長株やAI関連銘柄への過熱感の収まりとともに、今後数ヵ月、数四半期にわたって継続する可能性があるかとみています。市場参加者が期待しているFRBによる着実な利下げ継続はディープバリューの当ファンドにとっても好ましいものとなるでしょう。緩和的な金融・財政政策により、結果的に米国経済はリセッション（景気後退）を回避できると、慎重ながらも楽観的にみています。

今後も引き続き、バリュー株式指数に対してアンダーウェイトとしている銘柄のうち、有形純資産価値に対する割安度が大きい銘柄のポジションの引上げを検討していきます。過去数か月間では、小売、エネルギー、素材の3セクターで複数の投資候補銘柄の調査を進めています。引き続き、PBR（株価純資産倍率）の低い当ファンド独自のユニバースを監視し、保有銘柄のモニタリングと併せて新たな銘柄や業種への投資機会を探ってまいります。

■ 1万口当たりの費用明細 (2023年10月23日から2024年9月24日まで)

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	30円 (27) (3)	0.235% (0.211) (0.023)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.008 (0.008) (0.001)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	31	0.243	

期中の平均基準価額は12,951円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2023年10月23日から2024年9月24日まで)

(1) 株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	ア メ リ カ	百株 621,420.47 (555.47)	千アメリカ・ドル 701,598 (-)	百株 56,865.39	千アメリカ・ドル 79,121

※金額は受渡し代金。

※（ ）内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(2) 投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
外 国	ア メ リ カ		口	千アメリカ・ドル	口	千アメリカ・ドル
		PARK HOTELS & RESORTS INC	1,873,100	23,878	-	-
		RLJ LODGING TRUST	2,845,580	28,539	-	-
		CHATHAM LODGING TRUST	1,418,655	12,527	-	-

※金額は受渡し代金。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2023年10月23日から2024年9月24日まで)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	117,490,448千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	85,036,296千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	1.38

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末（ただし、決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等 (2023年10月23日から2024年9月24日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2023年10月23日から2024年9月24日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2024年9月24日現在)

(1) 外国株式

銘	柄	期 末		業 種 等	
		株 数	評 価 額		
			外貨建金額		邦貨換算金額
(アメリカ)	百株	千アメリカ・ドル	千円		
GENWORTH FINANCIAL INC	65,694	45,000	6,468,356	保険	
ALLY FINANCIAL INC	5,793.72	19,692	2,830,650	金融サービス	
JETBLUE AIRWAYS CORP	20,889	11,969	1,720,481	運輸	
JACKSON FINANCIAL INC-A	4,456.4	40,352	5,800,297	金融サービス	
BEAZER HOMES USA INC	14,976.63	50,156	7,209,528	耐久消費財・アパレル	
M/I HOMES INC	2,696.2	46,024	6,615,509	耐久消費財・アパレル	
HOWARD HUGHES HOLDINGS INC	4,999.3	38,614	5,550,461	不動産管理・開発	
RADIAN GROUP INC	6,072.73	21,485	3,088,299	金融サービス	
NAVIENT CORP	10,950.8	17,203	2,472,860	金融サービス	
UNIVERSAL INSURANCE HOLDINGS	5,078.12	11,136	1,600,734	保険	
INTERNATIONAL SEAWAYS INC	1,279	6,485	932,270	エネルギー	
TUTOR PERINI CORP	10,408.61	26,999	3,880,970	資本財	
CIVITAS RESOURCES INC	7,462.2	40,616	5,838,252	エネルギー	
NMI HOLDINGS INC	1,557	6,450	927,216	金融サービス	
UNITED STATES STEEL CORP	9,484	36,617	5,263,431	素材	
ALLEGIANTE TRAVEL CO	6,562.37	30,285	4,353,214	運輸	
JEFFERIES FINANCIAL GROUP INC	4,245	26,344	3,786,754	金融サービス	
IAMGOLD CORP	66,044	35,597	5,116,815	素材	
ALGOMA STEEL GROUP INC	29,489	29,017	4,170,928	素材	
EQUINOX GOLD CORP	45,057.4	27,214	3,911,836	素材	
ELDORADO GOLD CORP	25,218.7	44,233	6,358,137	素材	
HUDBAY MINERALS INC	30,251.6	24,443	3,513,478	素材	
GALIANO GOLD INC	113,754.17	16,494	2,370,898	素材	

ドナルド・スミス米国ディープバリュー株式マザーファンド

銘	柄	期 末			業 種 等
		株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
GLOBAL SHIP LEASE INC-CL A		12,287.84	30,473	4,380,310	運輸
AERCAP HOLDINGS NV		5,699.6	55,069	7,915,694	資本財
TERNIUM SA-SPONSORED ADR		2,427.2	8,677	1,247,266	素材
SIRIUSPOINT LTD		25,535.74	36,056	5,182,756	保険
GOLAR LNG LTD		7,104	24,523	3,524,937	エネルギー
COOL CO LTD		19,636.22	21,698	3,118,873	エネルギー
小 計	株 数 ・ 金 額	565,110.55	828,935	119,151,224	
	銘 柄 数 < 比 率 >	29銘柄	—	<90.3%>	
合 計	株 数 ・ 金 額	565,110.55	—	119,151,224	
	銘 柄 数 < 比 率 >	29銘柄	—	<90.3%>	

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

(2) 外国投資信託証券

銘	柄	期 末			組 入 比 率
		口 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		口	千アメリカ・ドル	千円	%
PARK HOTELS & RESORTS INC		1,873,100	28,583	4,108,593	3.1
RLJ LODGING TRUST		2,845,580	27,943	4,016,612	3.0
CHATHAM LODGING TRUST		1,418,655	12,654	1,818,943	1.4
小 計	口 数 ・ 金 額	6,137,335	69,181	9,944,149	7.5
	銘 柄 数 < 比 率 >	3銘柄	—	<7.5%>	
合 計	口 数 ・ 金 額	6,137,335	—	9,944,149	7.5
	銘 柄 数 < 比 率 >	3銘柄	—	<7.5%>	

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

■ 投資信託財産の構成

(2024年9月24日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株 式	119,151,224	89.7
投 資 証 券	9,944,149	7.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	3,787,991	2.9
投 資 信 託 財 産 総 額	132,883,365	100.0

※期末における外貨建資産（131,137,178千円）の投資信託財産総額（132,883,365千円）に対する比率は98.7%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=143.74円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年9月24日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	133,558,355,317円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	3,536,566,629
株 式 (評 価 額)	119,151,224,816
投 資 証 券 (評 価 額)	9,944,149,414
未 収 入 金	674,990,000
未 収 配 当 金	251,424,458
(B) 負 債	1,663,260,050
未 払 金	717,817,481
未 払 解 約 金	945,442,569
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	131,895,095,267
元 本	91,716,016,587
次 期 繰 越 損 益	40,179,078,680
(D) 受 益 権 総 口 数	91,716,016,587口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C / D)	14,381円

※当期における期首元本額36,410,910,000円、期中追加設定元本額57,978,216,602円、期中一部解約元本額2,673,110,015円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

ドナルド・スミス米国ディープバリュー株式ファンドAコース（為替ヘッジあり） 4,205,952,123円

ドナルド・スミス米国ディープバリュー株式ファンドBコース（為替ヘッジなし） 87,510,064,464円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2023年10月23日 至2024年9月24日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	2,408,722,173円
受 取 配 当 金	2,382,579,420
受 取 利 息	26,181,713
支 払 利 息	△ 38,960
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	25,539,114,974
売 買 益	33,076,656,863
売 買 損	△ 7,537,541,889
(C) そ の 他 費 用 等	△ 7,289,273
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	27,940,547,874
(E) 解 約 差 損 益 金	△ 1,018,036,251
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	13,256,567,057
(G) 合 計 (D + E + F)	40,179,078,680
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	40,179,078,680

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。